

龍谷大学における「仏教 SDGs」を通じた成果と課題（2023 年度）

2024 年 11 月 1 日

龍谷大学では、2020 年度から 2039 年度を計画期間として展開する将来計画「龍谷大学基本構想 400」における将来ビジョンとして、『『まごころ～Magokoro～』ある市民を育み、新たな知と価値の創造を図ることで、あらゆる『壁』や『違い』を乗り越え、世界の平和に寄与するプラットフォームとなる』旨を掲げています。これは、まさに、持続可能な社会の実現を希求する計画といえます。

また、浄土真宗の精神を建学の精神とする本学では、阿弥陀仏が「すべての生きとし生けるものを決して見捨てない」と誓われた心（摂取不捨）と、SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という理念とに共通点を見出し、この仏教的な視点を通して大学構成員自らの自省と気づきを促す「仏教 SDGs」を掲げ、SDGs に資する諸事業を様々に展開しています。これらを踏まえ、龍谷大学ならではのアプローチで SDGs の達成に貢献することを誓い、2022 年 2 月に「龍谷大学 SDGs 宣言」を発出するに至りました。

ここでは「環境」「経済」「社会」及び「パートナーシップ」の 4 つの区分に分類し、2023 年度の主な活動を通じた成果と課題をまとめました。各取組の詳細については「[龍谷大学の SDGs 取組実績](#)」をご参照ください。

龍谷大学基本構想 400 – 2039 年創立 400 周年を超えた未来に向けて –

<https://www.ryukoku.ac.jp/400plan/>

龍谷大学 SDGs 宣言

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/about/>

仏教 SDGs について

<https://retaction-ryukoku.com/concept>

龍谷大学の SDGs 取組実績

<https://www.ryukoku.ac.jp/sdgs/goal>



ソフトバンク株式会社およびLINE ヤフー株式会社との包括連携協定締結式の様子

「龍谷大学基本構想 400」に掲げる多様な事業を展開する中で、学外・学内の様々な組織と連携し、コレクティブ・インパクトの創出に向けて取り組んでいます。

2023 年 11 月、龍谷大学は大阪ガス都市開発株式会社および京都信用金庫と共に「共創 HUB 京都コンソーシアム」を組織し、京都市立芸術大学新キャンパス隣接地の活用に係る基本協定を締結しました。本締結をもとに、地上 8 階建てのイノベーションハブ拠点を整備する計画です。共創 HUB 京都の各者が有するリソースやネットワークを駆使し、社会課題解決に繋がる産業創出やコミュニティ形成、人材育成などを推進します。拠点内にはスタートアップ支援に特化した京都信用金庫の支店や、龍谷大学のサテライトキャンパス、交流型の学生寮や賃貸マンションなど様々な機能を備える予定です。

2023 年 12 月、龍谷大学農学部は天津市と株式会社シニアライフクリエイト、天津市健康推進員連絡協議会とともに「高齢者のフレイル（虚弱）予防事業」を実施しています。自宅で簡単に作ることができる高齢者向け惣菜レシピを考案し、天津市のホームページにて公開しています。また、この惣菜は株式会社シニアライフクリエイトの宅配弁当に採用され、多くの高齢者に提供できるようになりました。

また、2023 年 12 月 15 日、龍谷大学はソフトバンク株式会社および LINE ヤフー株式会社と包括連携協定を締結しました。先端技術やスタートアップ支援に関するノウハウなどを活用して、社会課題解決や人材育成を推進する場として本学が整備を進める「龍谷大学京都駅前新拠点（仮称）」の構築や、本学の DX（デジタルトランスフォーメーション）への連携・共創を推進していきます。

今後も龍谷大学が多様な組織、社会とのハブとなることで、誰一人取り残さない社会の実現に向けて新たな知と価値の創造を図っていきます。